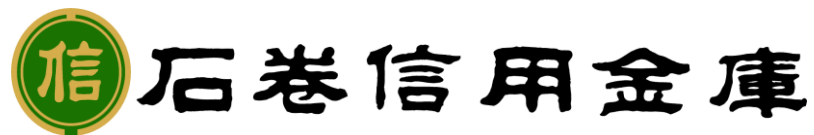


# 水産加工業の課題と当金庫の取組みについて

---

平成27年2月8日



## ○三陸産業再生ネットワークについて

### 【設立】

平成24年7月、復興状況に応じた産業復興ソリューションの開発を目的に設立。

### 【参加組織】

石巻信用金庫、気仙沼信用金庫、石巻商工会議所、気仙沼商工会議所、石巻専修大学

⇒ 産学金連携体制

### 【主要事業】

販路開拓事業、新商品開発支援事業、個別相談、被災企業調査など

## ○被災企業調査について

### 【調査目的】

宮城県石巻市・気仙沼市の被災企業(水産関連企業)の復旧・復興状況をタイムリーに把握する。

### 【調査対象】

水産業に関連する企業 ⇒ 水産加工会社、鮮魚取扱業者、小売業、運送業、卸売業など  
(各信用金庫取引企業&各商工会議所会員企業)

### 【調査方法】

調査票を郵送し、FAX、郵送、持込のいずれかの方法で回収

### 【調査時期】

第1回:平成25年2月、第2回:平成25年8月、第3回:平成26年2月、第4回:平成26年8月

# 石巻地域における被災状況・復旧状況に関する調査

## 1. 現在どの程度復旧していますか [社]

休業中	一部復旧	仮復旧	全復旧	計
2	8	10	73	93
2.2%	8.6%	10.8%	78.5%	100%

## 規模別復旧状況 [社]

	休業中	一部復旧	仮復旧	全復旧	計
10人未満	2	4	6	31	43
10～50人未満		4	3	37	44
50～100人未満			1	4	5
100人以上				1	1
計	2	8	10	73	93

## 2. 震災前と現在の売上高の状況はどうか [社]

減少した	変わらない	増加した	未回答	計
69	11	11	2	93
74.2%	11.8%	11.8%	2.2%	100%

## 規模別売上状況 [社]

	減少した	変わらない	増加した	未回答	計
10人未満	34	5	3	1	43
10～50人未満	32	5	6	1	44
50～100人未満	3	1	1		5
100人以上			1		1
計	69	11	11	2	93

## 3. 復旧後の稼働率(震災前と比較して) [社]

50%未満	50～100%未満	100%以上	未回答	計
13	56	19	5	93
14.0%	60.2%	20.4%	5.4%	100%

## 4. 現在製造している商品はどれですか [社]

最終商品	1次加工製品	2次加工製品	その他	未回答	計
44	16	9	15	9	93
47.3%	17.2%	9.7%	16.1%	9.7%	100%

# 石巻地域における被災企業の課題に関する調査

1. 現在、原料の仕入れは順調に調達できていますか

[社]

順調でない	あまり順調でない	どちらとも言えない	やや順調である	順調である	未回答	計
8	17	30	16	16	6	93
8.6%	18.3%	32.3%	17.2%	17.2%	6.5%	100%

2. 現在、販売活動は順調ですか

[社]

順調でない	あまり順調でない	どちらとも言えない	やや順調である	順調である	未回答	計
8	27	29	19	6	4	93
8.6%	29.0%	31.2%	20.4%	6.5%	4.3%	100%

3. 事業再開後(震災後)、競合企業が増えましたか

[社]

増えた	やや増えた	どちらとも言えない	やや減った	減った	未回答	計
12	26	45	4	2	4	93
12.9%	28.0%	48.4%	4.3%	2.2%	4.3%	100%

4. 生産設備の復旧は順調ですか

[社]

順調でない	あまり順調でない	どちらとも言えない	やや順調である	順調である	未回答	計
3	12	28	20	22	8	93
3.2%	12.9%	30.1%	21.5%	23.7%	8.6%	100%

## 5. 事業再開後、生産設備は順調に稼働していますか

[社]

順調でない	あまり順調でない	どちらとも言えない	やや順調である	順調である	未回答	計
7	21	31	20	8	6	93
7.5%	22.6%	33.3%	21.5%	8.6%	6.5%	100%

## 6. 従業員等順調に確保できていますか

[社]

順調でない	あまり順調でない	どちらとも言えない	やや順調である	順調である	未回答	計
16	28	21	13	11	4	93
17.2%	30.1%	22.6%	14.0%	11.8%	4.3%	100%

## 7. 事業資金は順調に確保できていますか

[社]

順調でない	あまり順調でない	どちらとも言えない	やや順調である	順調である	未回答	計
2	17	35	22	12	5	93
2.2%	18.3%	37.6%	23.7%	12.9%	5.4%	100%

## 8. 事業再開後(震災後)、風評被害を受けたことがありますか

[社]

受けたことがある	やや受けたことがある	どちらとも言えない	あまり受けたことがない	受けたことがない	未回答	計
26	26	20	7	10	4	93
28.0%	28.0%	21.5%	7.5%	10.8%	4.3%	100%

# 石巻地域における被災企業の課題に関する調査

9. 現在、課題解決が必要であると考えられる順位をお書きください

[社]

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	未記入	計
①原料仕入れ	15	14	9	9	11	7	6	3	0	19	93
②販路開拓	29	15	13	9	3	3	3	3	0	15	93
③生産設備復旧	8	7	6	13	6	10	12	13	0	18	93
④人材確保	20	15	14	9	9	4	5	3	0	14	93
⑤資金調達	7	11	13	5	9	10	6	10	0	22	93
⑥風評対策	6	7	9	6	14	10	8	12	0	21	93
⑦製造技術革新	4	5	8	10	5	9	19	8	0	25	93
⑧商品開発	2	11	12	10	8	10	5	10	0	25	93
⑨その他	1	1	0	0	0	0	0	0	30	61	93

## 1. 産学および異業種連携による共同事業に取り組んでみたいと思いますか

### ①大学および研究機関との連携

[社]

はい	いいえ	未回答	計
42	45	6	93
45.2%	48.4%	6.5%	100%

### ②異業種との連携

[社]

はい	いいえ	未回答	計
45	40	8	93
48.4%	43.0%	8.6%	100%

### ③同業種との連携

[社]

はい	いいえ	未回答	計
35	47	11	93
37.6%	50.5%	11.8%	100%

### ④どのような事業で連携してみたいですか(複数可)

新商品開発	販売事業	原料調達	市場調査	物流事業	生産機械の共同利用	消費者とのコミュニケーション	ネットショップ	生産活動	その他	計
47	37	17	14	13	13	8	6	4	1	160

### ⑤連携に際して不安に思うことは何ですか(複数回答可)

機密保持	意思決定	人間関係	販売手法	企業文化	資金調達	原料調達	衛生管理	生産手法	管理責任	その他	計
38	26	24	24	22	15	15	10	10	4	5	193

## 2. 自社ブランドの形成や販売戦略等について

①大手企業のPB商品の下請け製造をしたいと思いますか

[社]

はい	いいえ	取引中	未回答	計
15	52	12	14	93
16.1%	55.9%	12.9%	15.1%	100%

②海外への販路開拓を希望していますか

[社]

はい	いいえ	未回答	計
40	40	13	93
43.0%	43.0%	14.0%	100%

③量より質的な優位性を求めていますか

[社]

はい	いいえ	未回答	計
76	6	11	93
81.7%	6.5%	11.8%	100%

④流通構造を革新する必要性を感じていますか

[社]

はい	いいえ	未回答	計
58	20	15	93
62.4%	21.5%	16.1%	100%

## 3. 風評被害について

①トレーサビリティの必要性を感じていますか

[社]

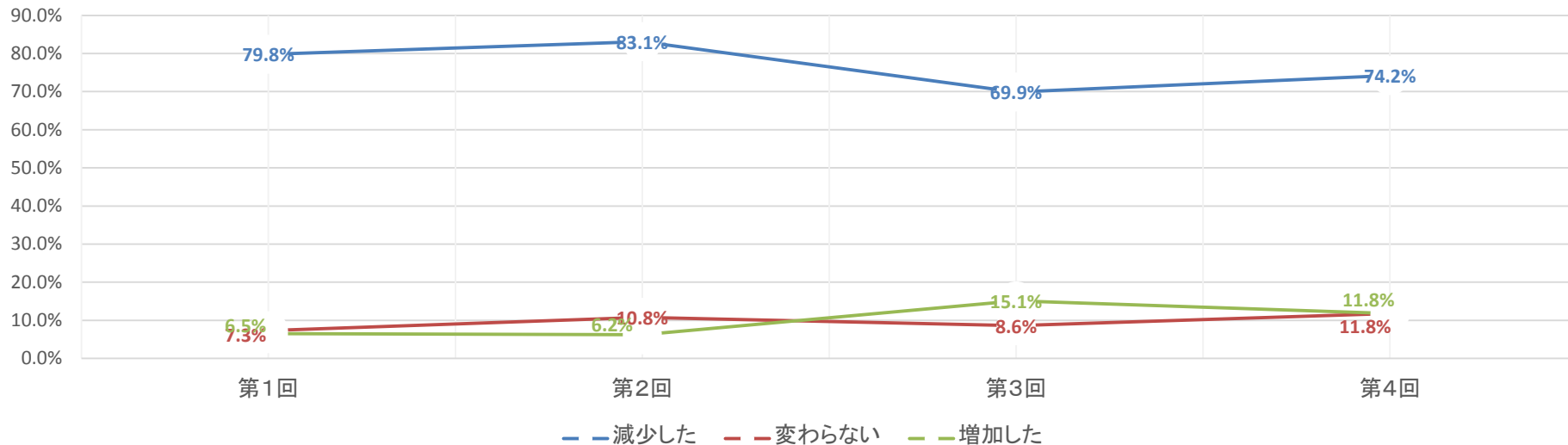
はい	いいえ	どちらでもない	未回答	計
40	8	38	7	93
43.0%	8.6%	40.9%	7.5%	100%

②「いいえ」「どちらでもない」とお答えになった方のみお答え下さい。何故そのようにお答えになったのか理由を選択してください(複数可) [社]

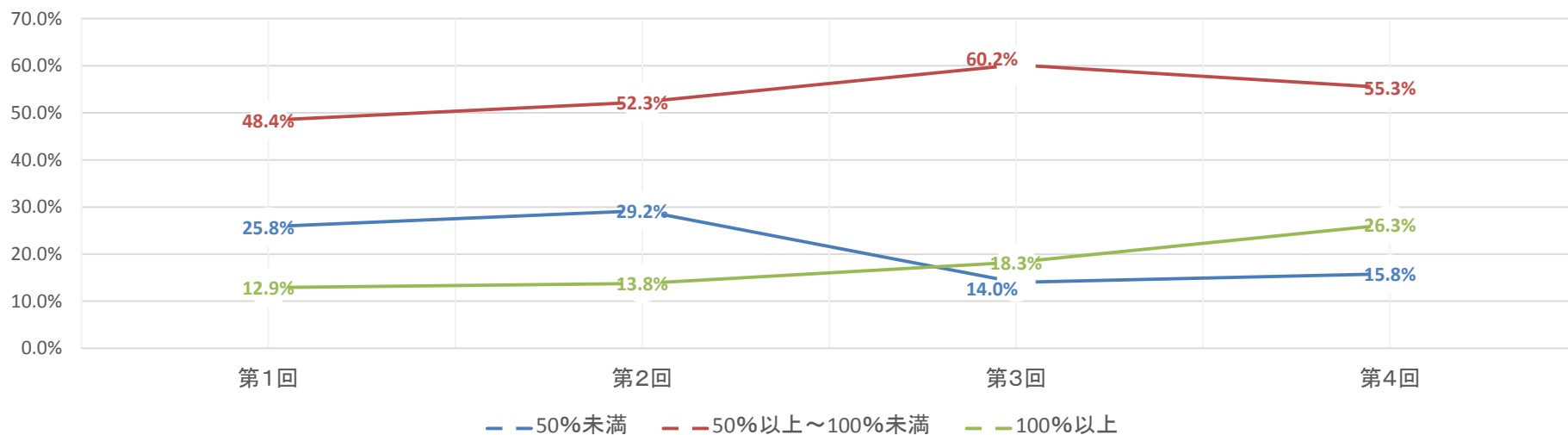
手間がかかる	人手不足	必要性を感じない	風評を煽る恐れ	よくわからない	操作ができない	その他	計
11	13	10	9	13	3	8	67



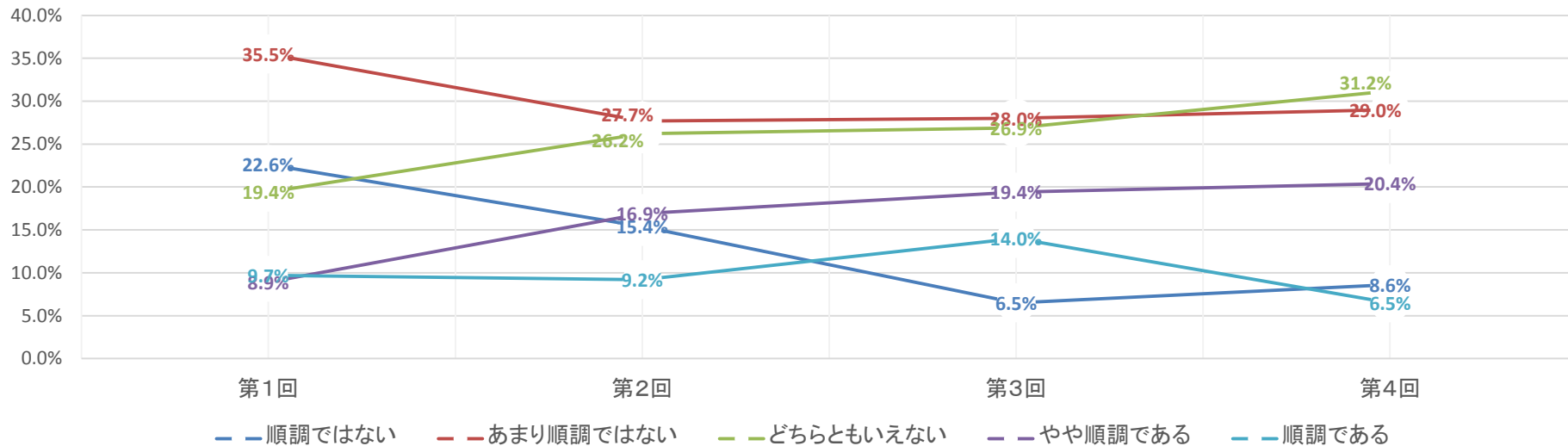
## 売上状況



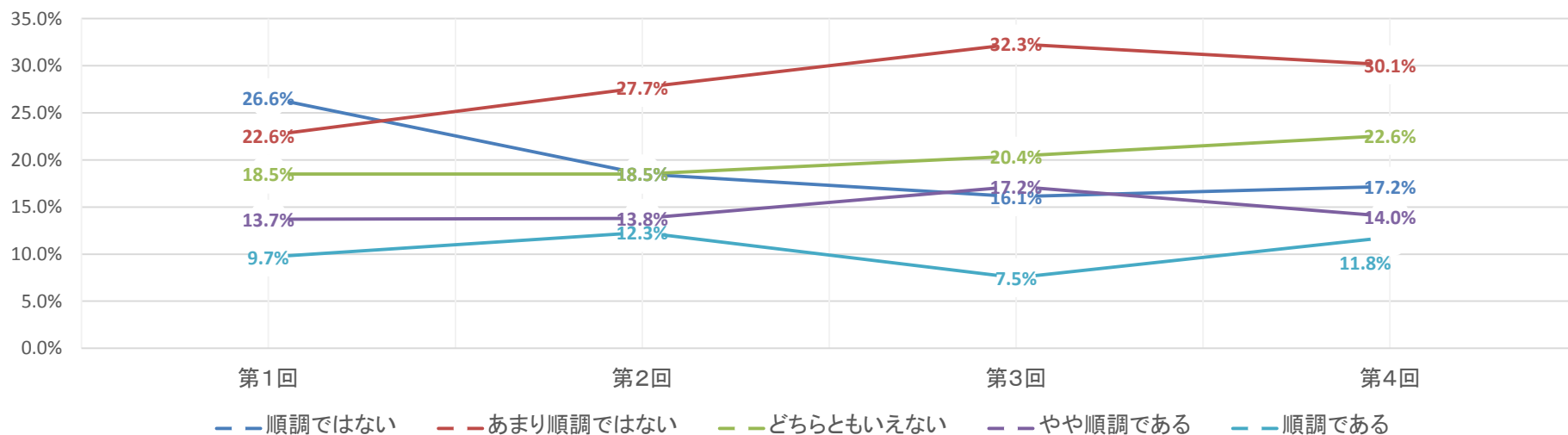
## 稼働率



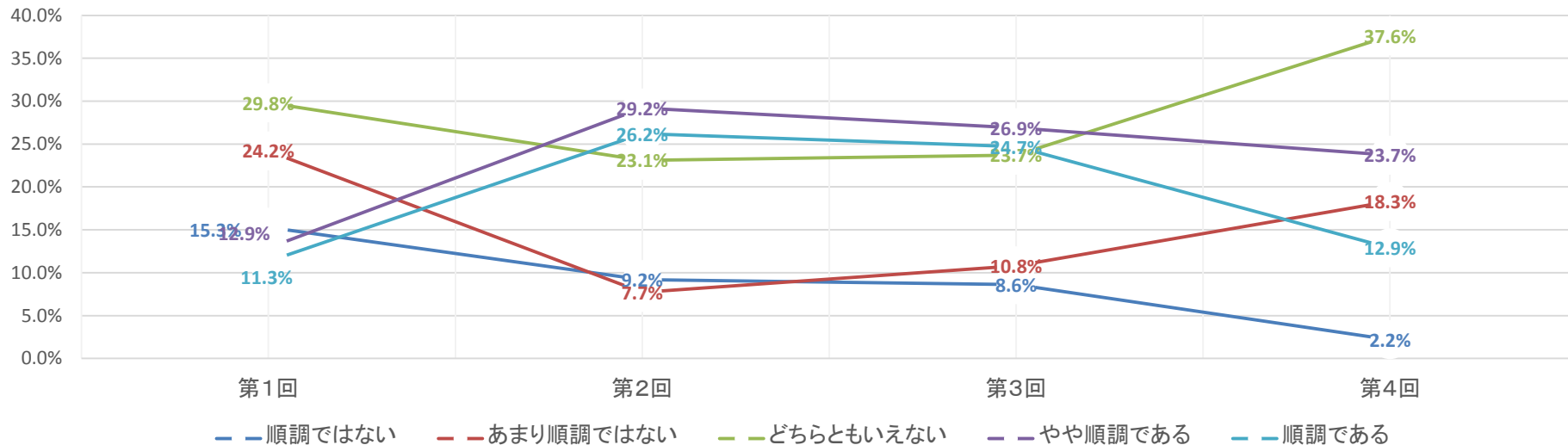
## 販売活動



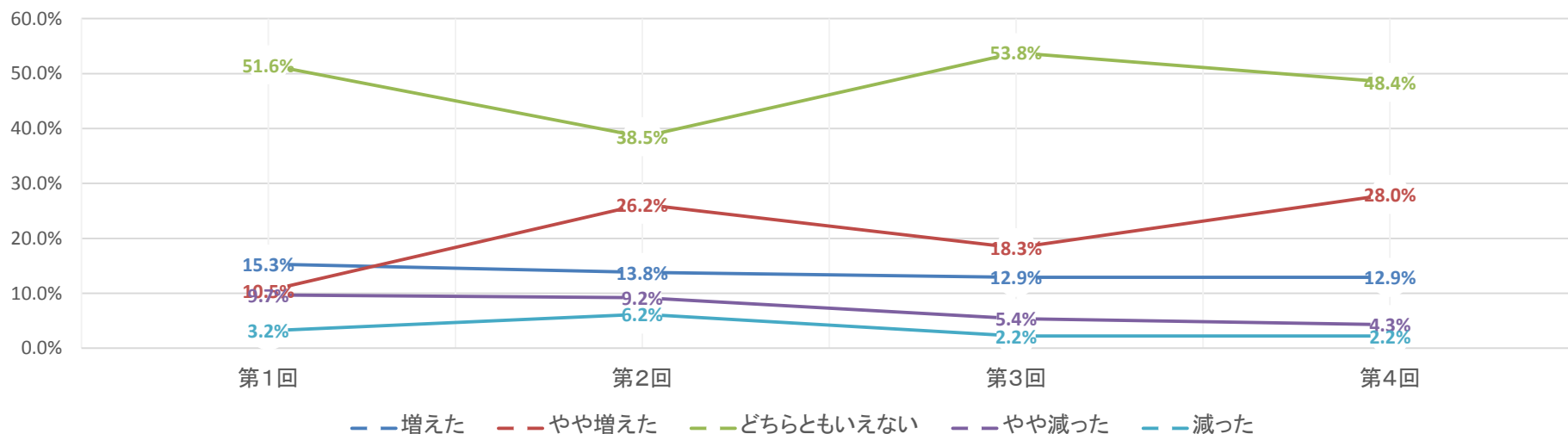
## 人材確保



## 資金調達



## 競合企業



## ○原材料の確保

- ・水揚げの減少
- ・価格の高騰(円安の影響含む)
- ・大手業者による買い占め
- ・仕入先の多様化
- ・水産業者の担い手不足
- ・水揚げ魚種の変化
- ・温暖化による漁場環境の変化



- ・日本財団「わがまち基金」を活用した融資商品の提供

## ○販路の確保・売上向上、商品開発

- ・震災後失った販路の回復遅れ
- ・グローバルな市場競争
- ・付加価値製品不足(後発)
- ・食習慣の変化(魚離れ)
- ・営業力強化



- ・各種ビジネスマッチへの参加サポート
- ・ハンズオン支援事業
- ・被災地域発 食品加工企業イノベーションプロジェクト
- ・石巻うまいものカタログの作成
- ・視察旅行等の魚市場・水産関連工場見学(鮮度・衛生面PR)
- ・三陸産業再生ネットワークによる商品開発&販路支援

## ○設備

- ・建設資金(自己資金含む)の確保
- ・資材価格の高騰
- ・小規模漁港の復旧遅れ(養殖)



- ・グループ化補助金におけるつなぎ資金
- ・日本財団「わがまち基金」を活用した融資商品の提供

## ○人材

- ・働き手不足(人口減少、高齢化、労働環境等)
- ・経営者(後継者)の育成(知識、経験、意識等)



- ・石巻しんきん経営塾の設立
- ・いしのまきイノベーション企業家塾の設立
- ・水産加工業に関する各種セミナーの開催

## ○資金面

- ・運転資金の確保(売上低迷、稼働率低下による)
- ・事業再生、経営再建
- ・新設備の導入(販売先の要望に対し)



- ・日本財団「わがまち基金」を活用した融資商品の提供
- ・ABLを活用した融資支援
- ・復興支援ファンドの活用(しんきんの絆、三菱商事等)
- ・中小企業再生支援協議会との連携支援
- ・みやぎ産業復興機構、(株)東日本大震災事業者再生支援機構の積極的活用

## ○風評被害



- ・トレサビリティの普及に向けた取組み(三陸産業ネットワーク)

## ○日本財団「わがまち基金」を活用した融資商品の提供

### ・しんきん創業・新規事業支援融資

支援方法：利子補給＋※助成金

（※支給については事業計画等で総合的に判断）

融資金額：500万円以下

支援期間：10年以内（据置期間2年間含む）

資金使途：運転資金・設備資金

### ・しんきん被災地事業者支援融資

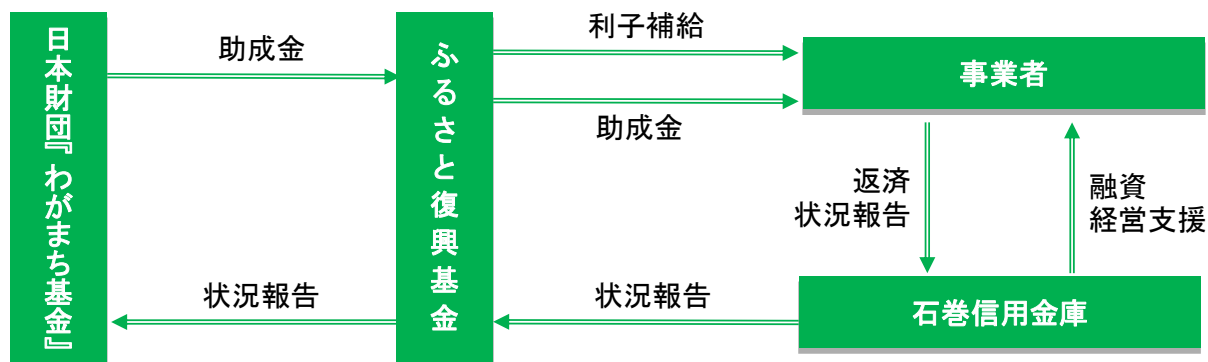
支援方法：利子補給による支援

融資金額：2,000万円以下

支援期間：10年以内（据置期間2年間含む）

資金使途：運転資金・設備資金

## < スキーム（イメージ）図 >



## ○主に企業実態把握を目的としたABLの活用について

当金庫は、金融円滑化の観点から、担保・保証に依存することなくお客様の実態把握を目的とした動産担保融資（ABL）による事業者の資金調達手段の拡充に積極的に取り組んでまいりました。

現在、信金中央金庫が提供する「ABL導入サポートプログラム」において、NPO法人日本動産鑑定会の賛助会員にもなっており、動産担保を一般担保として、客観的かつ合理性のある担保評価や動産処分等が可能となり、ABLの積極的な活用に向けた環境も整備されております。

### < ABL取扱実績 >

	取扱実績	うち震災以降
件数	11件	8件
金額	817百万円	674百万円

(注) 取扱実績は、平成26年11月末までの累計

### < 水産加工業者取扱事例 >

	担保物件
A社	原材料(冷凍魚介類)
B社	商品在庫(銀ザケ、さんま等)、売掛金

## ○事業再生支援に向けた取組みについて

### ・「公益財団法人みやぎ産業復興機構」および「(株)東日本大震災事業者再生支援機構」の活用

被災により経営に支障が生じ、収益力に比して過大な債務を負っているものの、既往債権の買取り等により再生の可能性が見込まれるお客様については、お客様の意向を踏まえ積極的に活用しております。

	債権買取完了先数	買取決定先数	計
宮城産業復興機構	26	4	30
東日本大震災事業者再生支援機構	38	2	40

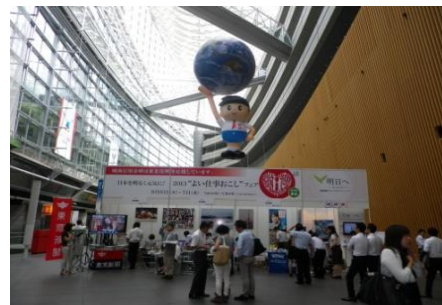
### ・事業再生ファンド等の活用

	支援先数
復興支援ファンド「しんきんの絆」	9
公益財団法人 三菱商事復興支援財団	1

## ○ビジネスマッチや各種支援機関等を活用した取引先企業への販促支援



ビジネスマッチ東北の会場ならびに商談の様子



信用金庫業界ネットワークを活用した各種イベントへの参加サポート



その他外部機関主催の販売イベントへの参加サポート

### ・取引先商品のカタログ販売支援および視察旅行等の誘致

当金庫取引先の商品をまとめた「石巻うまいものカタログ」を作成し、視察や観光に訪れた旅行者等配布しております。このカタログは、単に売上貢献することを目的にしたものではなく、商品構成等を話し合い、事業者と一緒に売上の拡大のきっかけを掴むツールとして活用しております。

当金庫は、石巻地域を身近に感じてもらい、観光リピーターを増加させることが地域活性化につながるものと考えており、今後は、各自治体との連携強化と信用金庫業界のネットワークを活用することで、当金庫の営業エリアにおける交流人口の増加にも積極的に取り組んでまいります。



### ・被災地域発 食品加工業イノベーションプロジェクト

主 催：被災地企業販売力強化実行委員会（東経連ビジネスセンター、東北ニュービジネス協議会、石巻信用金庫、気仙沼信用金庫、仙南信用金庫、仙台銀行、アイリスオーヤマ(株)、(株)アサツーディ・ケイ、ヤマトホームコンビニエンス(株)、(株)ローソンほか）

実施内容：①WEB販売を通じた消費者意見の分析、改善提案 ③試食会アンケートによる消費者意見の収集、分析、フィードバック  
②専門家による企業訪問、商品評価、改善提案 ④事業拡大へ向けた専門家個別相談会、セミナー、情報交換会

対象地域：青森県、岩手県、宮城県、福島県の東日本大震災被災市町村

## ○「石巻しんきん経営塾」の活動について

「石巻しんきん経営塾」は「知る」「考える」「語る」「実現する」の4つのプロセスを基本に、若手経営者が新たな事業方策やビジネスの発展等を目指して異業種の経営者等と交流を図ることで、次世代の経営者を育成し、地域の再生・活性化に貢献することを目的としております。現在、60名程の若手経営者が参加しております。



講師を招いた講演会の様子



企業視察の様子



4信用金庫の経営塾による企業交流会  
(写真左:交流会、右:塾生によるプレゼンテーションの様子)



## ○「いしのまきイノベーション企業家塾」について

地域で新事業の創出または既存事業の発展を構想している方を対象に、専門家による実践的な手法を取り入れた産学官金連携による「いしのまきイノベーション企業家塾」を設立いたしました。これからの時代、経営者に求められるものは、多種多様で非常に複雑化しており、当金庫はそれを補い、克服し、養成するための人材育成支援も行ってまいります。

### ～ 平成26年度いしのまきイノベーション企業家塾 ～

主 催:石巻信用金庫  
共 催:石巻市 協力:  
日 程:平成26年5月～平成26年12月 第1・3木曜日 計13回  
塾 生:22名  
講義内容:デザイン思考、マーケティングとは(事例と方法)  
バルーン型組織とベンチャー企業、経営と会計  
新事業・新商品開発と知財  
人材・組織マネジメント、ビジネスプランの作り方  
マインド研修～経営者としてのマインド・スキルを高める

etc



講義中の様子



塾生交流会の様子



